

平成30年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	道路事業 [国道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市落合町～笛吹市石和町	地区名	国道140号 (新山梨環状道路・東部区間Ⅱ期)	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画 ※1 H26～H34	現計画 (事業採択時) ※2 —	変更計画	⑤これまでの評価状況 (平成25年度事前評価)				
計画区間	L=3, 700m	L=5, 500m	—	この事業は、甲府都市圏を取り囲む「新山梨環状道路」の東部区間 (仮称) 東油川ランプから (仮称) 広瀬ランプの区間の整備を行うものであり、既に事業着手している西下条ランプから (仮称) 東油川ランプの区間と一体的に整備を進めることで、甲府都市圏における交通の円滑化と、周辺地域との連携強化を図るものである。				
総事業費	18,300 百万円	25,700 百万円	41,200 百万円	本事業の整備により、環状ネットワーク効果の発現とともに交通渋滞の緩和を図ることができることから、事業の必要性は高いと評価でき、実施が妥当である。				
※1 平成25年度に事前評価に諮った計画 ※2 国土交通省補助事業に採択された計画				なお、新山梨環状道路の整備効果の発現を高めるためには、本事業区間も含め、残る未整備区間の整備が必要であることから、時間管理を徹底し、計画的な執行に努められたい。				
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
<p>新山梨環状道路は、甲府都市圏の中心部に集中する交通を適切に分散・導入し甲府市内の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、周辺地域の拠点施設を有機的に結合し地域連携を強化する機能を併せ持った道路である。このうち東部区間は、供用済みである南部区間の西下条ランプから国道20号に至る全長約7kmの区間である。西下条ランプから国道20号をつなぐ現道は、朝夕を中心に交通が集中し激しい渋滞が発生しており、社会・経済活動に大きな支障となっている。</p> <p>本路線は平成39年に予定されているリニア中央新幹線の開業効果を最大限に発揮するための交通ネットワークとして位置づけられており、既に事前評価済みである西下条ランプ～(仮称)東油川ランプ間に加え一体的に整備を進めることで交通の分散による渋滞緩和を図り、リニア新駅と県内各地とのアクセス強化を図る必要がある。</p> <p>□主要目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 混雑時走行速度 17.4km/h<30km/h以下※ 自動車交通量 6,505台/12h>3, 428台/12h以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○災害に強い道路の確保</p> <p>□副次効果 ○主要渋滞ポイントの解消 (通過に5分以上を要する等著しい渋滞が現に発生している交差点の解消もしくは大幅な改善)</p>								
②事業概要								
<p>計画延長 L=5, 500m</p> <p>道路幅員 W=7.0 (9.5) m [暫定形 (2/4車線)]</p>								
③全体計画								
		平成29年度まで	平成30年度 (評価実施年度)	平成31年度以降				
現計画	工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事	測量調査設計 用地取得 道路改良工事					
	事業費	6,400 百万円	2,450 百万円					
変更計画	工事内容	測量調査設計 用地取得 橋梁工事	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事				
	事業費	1,551 百万円	1,200 百万円	38,449 百万円				
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。								
④特記事項 (関連事業概要等)								
<ul style="list-style-type: none"> ・新山梨環状道路東部区間 L=1.6km 西下条ランプ～(仮)落合西IC 平成25年度事業化 (県) C=12,600百万円 W=7.0(9.5)m ・新山梨環状道路北部区間 L=2km (仮称)広瀬IC～(仮称)桜井IC 平成28年度事業化 (国土交通省) 								
③ 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]								
		項目	着手時点	変更計画時点				
		総事業費	18,300 百万円	41,200 百万円				
		工期	H26～H34	H26～H38				
経済 効 率 性	費用 便益	評価基準年	H25	H30				
		費用	14,200 百万円	31,790 百万円				
		建設費	13,800 百万円	31,200 百万円				
		維持管理費	400 百万円	590 百万円				
		便益	23,360 百万円	45,100 百万円				
		走行時間短縮便益	15,100 百万円	33,500 百万円				
		走行経費減少便益	4,300 百万円	7,700 百万円				
		交通事故減少便益	3,000 百万円	2,600 百万円				
		その他※	960 百万円	1,300 百万円				
				B/C	1.6	1.4		
費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。								
※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益、CO2排出量削減便益								
※算出に当たっては、最新の条件により算出								
(国の費用便益分析マニュアル改定(H30.2)及びH22センサス版OD表による)								

2. 評価シート

<p>(4) 評価項目【事業の進捗状況及び見込み】</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 平成25年度事前評価区間はL=3.7kmであるが、国土交通省との協議の結果、平成26年度には、平成24年度事前評価区間L=3.4kmのうち残る区間1.8kmを含め広瀬ICまでの区間L=5.5kmが事業採択された。</p> <p>②進捗率 別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 沿線住民から高架構造への要望が出されたことから、道路構造の見直しについて、浸水解析により盛土構造がもたらす浸水継続時間や浸水時の流れの影響を確認するなど検討を行い、計画への地元合意に期間を要した。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑤変更計画の進捗予定（期間） 計画への地元合意が概ね得られたことから、事業期間を4年間延長し、平成38年度の完成を目指す。</p>	<p>⑥変更計画の変更内容（事業費）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">変更工種等</th> <th style="width:30%;">事業費増減</th> <th style="width:40%;">変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路改良 L=5,500m</td> <td>15,500 百万円 増</td> <td>沿線住民から高架構造への要望が出されたことから、道路構造の見直しを行い橋梁延長が増加したため。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>15,500 百万円 増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 評価項目【環境負荷等への配慮】 なし</p> <p>(6) 評価項目【コスト削減の可能性】 なし</p> <p>(7) 評価項目【代替案立案の可能性】 なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ） （理由） 平成32年度の完成を目指し進捗している西下条ランプ～(仮称)落合西IC間の1.6kmに加え、(仮称)落合西IC～(仮称)広瀬IC間の5.5kmにおいて一体的に整備を進めることで整備効果の発現が図られることから、変更計画に基づく執行に努め平成38年度の完成を目指し、リニア開業に間に合わせたい。</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由	道路改良 L=5,500m	15,500 百万円 増	沿線住民から高架構造への要望が出されたことから、道路構造の見直しを行い橋梁延長が増加したため。	合 計	15,500 百万円 増	
変更工種等	事業費増減	変更理由								
道路改良 L=5,500m	15,500 百万円 増	沿線住民から高架構造への要望が出されたことから、道路構造の見直しを行い橋梁延長が増加したため。								
合 計	15,500 百万円 増									

○別表-進捗率（事業費ベース）

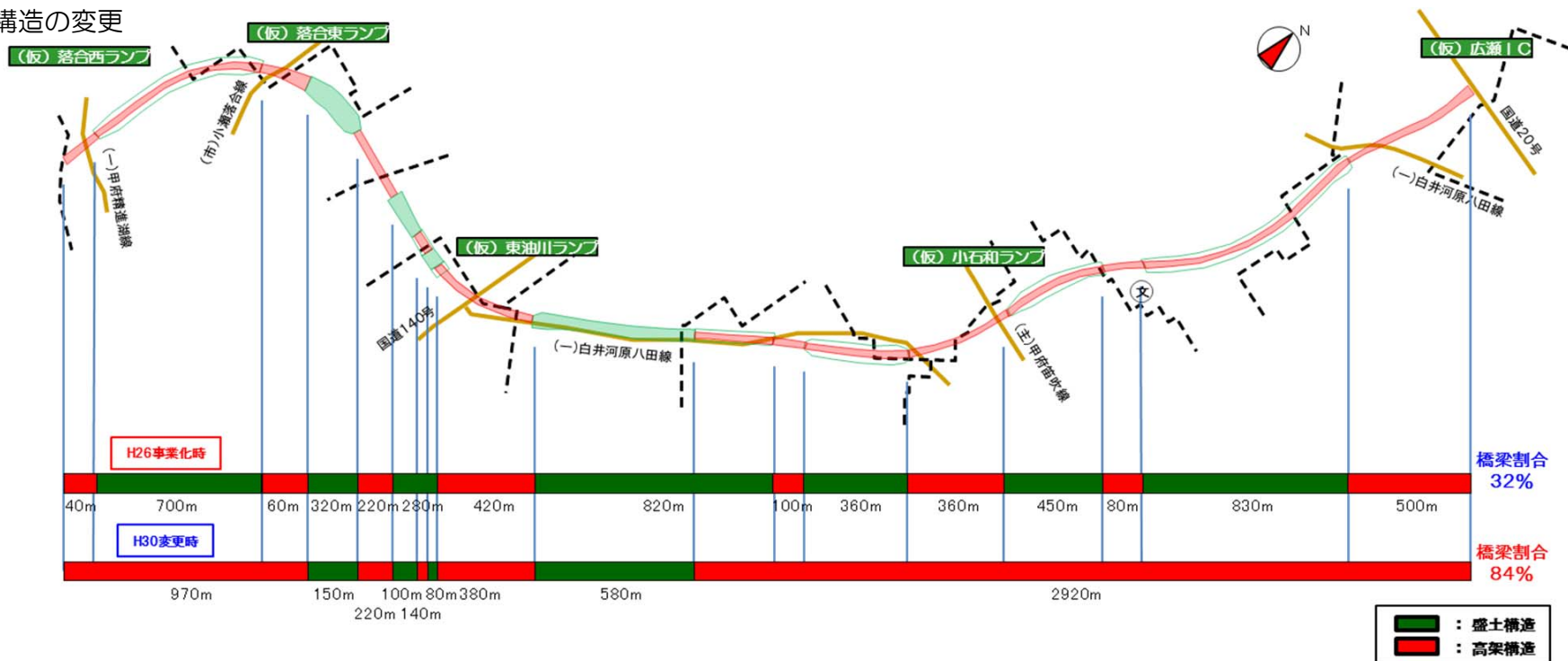
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*H26	H27	H28	H29	*H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
現	計画	0.5	7.5	21.2	34.8	48.2								
	実績	0.4	0.8	2.9	6.0	10.7								
変更計画						6.7	9.2	14.1	26.7	40.6	56.8	73.0	89.2	100.0

*事業着手年度又は評価年度

3. 添付資料シート(1) - 2

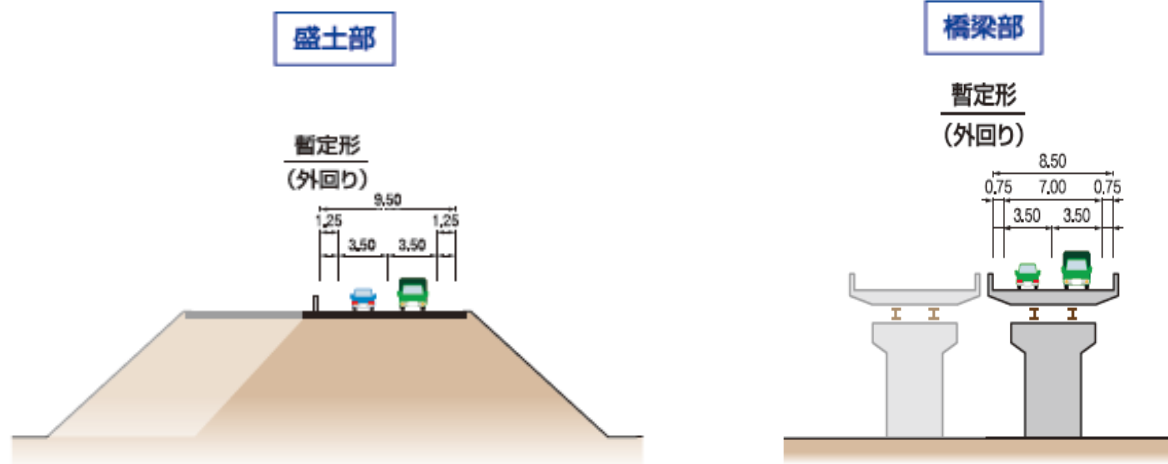
道路構造の変更



概算事業費

【当初】	道路改良工・地盤改良工(盛土構造L=3,760m)、橋梁工(高架構造L=1,780m)	257.0億円
【変更】	道路改良工・地盤改良工(盛土構造L= 910m)、橋梁工(高架構造L=4,630m)	412.0億円
増額		= 約155.0億円

標準横断面図



①甲府精進湖線(中道橋)渋滞状況



②国道140号(笛吹川左岸)渋滞状況



③国道140号(白井河原橋)渋滞状況



④国道140号(白井河原橋より)渋滞状況



⑤国道140号(井戸)渋滞状況



⑥国道140号(東高橋)渋滞状況



⑦国道20号(上阿原)渋滞状況



⑧新環状東部区間 I 期整備状況



年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H26	100,000	測量・調査・設計	0.2%
H27	101,000	測量・調査・設計	0.5%
H28	550,000	測量・調査・設計	1.8%
H29	800,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事	3.8%
H30	1,200,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事	6.7%
H31	1,030,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	9.2%
H32	2,010,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	14.1%
H33	5,200,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	26.7%
H34	5,740,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	40.6%
H35	6,670,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	56.8%
H36	6,660,000	橋梁工事、地盤改良工事	73.0%
H37	6,670,000	橋梁工事、道路改良工事	89.2%
H38	4,469,000	橋梁工事、道路改良工事	100.0%
合計	41,200,000		